

# 外来生物「ナガミヒナゲシ」の防除

## 【基本情報】

- ・ 植物名 ナガミヒナゲシ
- ・ 科名/属名 ケシ科/ケシ属
- ・ 原産地 地中海地方
- ・ 開花期 4～5月
- ・ 花の色 淡赤色、オレンジ
- ・ 樹高 15～60cm
- ・ 葉の特徴 ロゼット状
- ・ その他 越年草（冬を越える）  
周囲の植物の育成を抑制する物質を放出



花

実（さく果）  
2cm程の細い実

## ・ ナガミヒナゲシに似た植物



### ヒナゲシ

花がやや大きく、赤色、橙色、桃色、白色など色が多様。果実が太い。



### モンツキヒナゲシ

花弁の中央に著しい黒斑がある。

※写真出典 東京都健康安全研究センター

**問合先 大分市環境対策課環境保全担当班**

電話:097-537-5758 E-mail:kankyotai5@city.oita.oita.jp

## 【防除方法と注意点】

### 1 防除時は手袋の着用をお願いします。

ナガミヒナゲシは直接触れると手がかぶれる危険性がある成分をもっています。

### 2 除草時は種をまき散らさないようお願いします。

実ができたナガミヒナゲシを駆除することで種がちらばり、かえって繁殖を促してしまうことがあります。

これを防ぐため、次のことに注意し防除の実施をお願いします。

#### (1) **できるだけ実（種）ができる前に除草する。**

最適な防除時期は冬期です。

地面近くに放射線状に生えているロゼット状の葉が目印となります。

冬に駆除できなかった場合は、開花後の結実前に。

#### (2) **できるだけ手作業で、根から引き抜く。**

大量の種子の飛散を抑制する効果があります。

#### (3) **すぐにビニール袋に入れ、袋の口を閉じる。**

運搬時の種子の拡散を防止する効果があります。

私たちに  
できること!

### 外来生物被害予防三原則

入れない

捨てない

拡げない

- 悪影響を及ぼすおそれのある外来生物をむやみに国内に「入れない」ことが重要です。
- すでに外来生物を飼育している場合は、野外に出さないために、絶対に「捨てない」ことが重要です。
- 野外で外来生物が繁殖している場合は、それ以上「拡げない」ことが重要です。

～外来生物および特定外来生物対策に関するご理解とご協力をお願いします～